

第二種電気工事士実技試験の留意点

1)試験が開始されても、すぐに工具は持たない。

施工条件に「フェイント」が隠されていると心得て、先ず「施工条件」を熟読して、内容を把握した後、作業に取り掛かる。

2) ケーブルから「わたり線」を取り出す場合、絶縁電線の色に注意する。

3)配線器具間の距離は規定より少し短めとして、配線ミス等に対処できるようにしておく。

4)アウトレットボックスにアース線をネジ止めする場合、他の配線等を差し込む前に取り付けておく。配線の接続後にボックスの底にビス止めするのは難しい作業となる。

5)電源部の配線を規定通りの長さに切断すること。(長いままを丸めて処理しないこと。)

6)PL、コンセント及びスイッチ等へのわたり線の色を「施工条件」により確認をする。

7)差し込みコネクタへ差し込んである銅線が必ずコネクタの「天」に当たっていることを確認する。

8)直径 2mm×1 本と直径 1.6mm×1 本の圧着接続の刻印は「小」であることを確認する。もし、間違いが判明した場合は直ちに、スリーブをもらって(減点にならない)訂正する。

9)ランプレセプタクルへの配線ケーブルの絶縁体部分がランプレセプタクルの台座の上部からとなっていることを確認する。(台座の中から絶縁体で出てきているものが多い。)

10)ランプレセプタクルがパナソニック製のものは電線取り付けネジが小さいので、電線のワッパの直径に注意する。